

専門分野

科目名	母性看護学概論	開講時期	単位数	時間数
		1 年次後期	1	30
担当教員	専任教員・非常勤講師			
科目目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>母性看護の基盤となる概念を理解し、母性看護の意義と役割を理解する</li> <li>母性看護の取り巻く社会の変遷と現状を理解する</li> <li>母性に関連した関係法規を理解する</li> <li>女性の生涯を通じての性と生殖に関する健康問題を理解する</li> <li>母性看護における倫理的問題を理解し、看護者としての倫理観を基に女性の尊厳と擁護を考える</li> <li>新生児の特徴を理解できる</li> </ol>			
DP との 関連性	<ol style="list-style-type: none"> <li>豊かな感性を身につけ、人の可能性を信じ、自己も他者も大切にできる。</li> <li>医療従事者としての倫理観に基づき、生命と個人の尊厳を擁護できる。</li> <li>安全かつ安楽な看護を実践するために、臨床判断に必要な知識・技術・態度が身についている。</li> <li>その人らしい生活を支えるために、対象の持てる力を活かした援助を考える力が身についている。</li> <li>医療チームの一員として多職種との連携・協働ができる。</li> <li>看護に対する探究心をもち、自ら学ぶ姿勢を持ち続けることができる。</li> </ol>			
回数	学習内容		授業方法	
1	母性看護の基盤となる概念		講義	
2	母性看護の基盤となる概念		講義	
3	母性看護の対象理解		講義	
4	ライフステージ各期の看護		講義	
5	母性看護における倫理的問題		講義・個人ワーク	
6	リプロダクティブヘルスケア		グループワーク	
7	リプロダクティブヘルスケア		グループワーク	
8	母性看護を取り巻く社会の変遷と母子保健施策・母子保健統計		講義	
9	母性看護を取り巻く社会の変遷と母子保健施策・母子保健統計		講義	
10	母性看護を取り巻く社会の変遷と母子保健施策・関係法規		講義	
11	母性看護を取り巻く社会の変遷と母子保健施策・関係法規		講義	
12	母性看護を取り巻く社会の変遷と母子保健施策・関係法規		講義	
13	母性看護の対象理解(新生児)		講義	
14	母性看護の対象理解(新生児)		講義	
15	まとめ 筆記試験		講義	
評価方法	筆記試験			
教科書	医学書院 母性看護学概論 医学書院 母性看護学各論			
実務経験	本科目は助産師として実務経験のある教員による授業である			

専門分野

科目名	母性看護学援助論 I	開講時期	単位数	時間数
		2 年次前期	1	30
担当教員	非常勤講師			
科目目標	1. 女性のライフステージ各期の特徴と健康問題、女性特有の疾患を理解する 2. 生殖過程として、妊娠・分娩・産褥期の正常経過と異常(健康障害)を理解する			
DP との 関 連 性	4. 安全かつ安楽な看護を実践するために、臨床判断に必要な知識・技術・態度が身についている。 5. その人らしい生活を支えるために、対象の持てる力を活かした援助を考える力が身についている。 8. 看護に対する探究心をもち、自ら学ぶ姿勢を持ち続けることができる。			
回数	学習内容	授業方法 備考		
1	女性生殖器の形態・機能の変化	講義		
2	女性生殖器の形態・機能の変化(月経周期・妊娠の成立)	講義		
3	女性のライフステージ各期の疾患と治療(思春期・成熟期)	講義		
4	女性のライフステージ各期の疾患と治療(更年期・老年期)	講義		
5	女性生殖器疾患の症状と検査・治療	講義		
6	女性生殖器疾患の手術・治療	講義		
7	人の生殖について(遺伝相談・不妊治療)	講義		
8	妊娠期の理解(正常妊娠)	講義		
9	妊娠期の理解(異常妊娠)	講義		
10	妊娠期の理解(異常妊娠)	講義		
11	分娩期の理解(正常分娩)	講義		
12	分娩期の理解(胎児心拍モニター・NCPR)	講義		
13	分娩期の理解(異常分娩)	講義		
14	産褥期の理解(正常産褥)	講義		
15	産褥期の理解(異常産褥)	講義		
評価方法	筆記試験 100 点			
教科書	医学書院 母性看護学概論 医学書院 母性看護学各論 医学書院 専門分野Ⅱ 女性生殖器			
実務経験	本科目は産婦人科医師として実務経験のある教員による授業である			

専門分野

科目名	母性看護学援助論Ⅱ	開講時期	単位数	時間数
		2年次後期	1	30
担当教員	非常勤講師			
科目目標	妊娠・分娩・産褥期・新生児期を理解し、親になる過程や家族適応を支える看護実践のための基礎的知識・技術・態度を習得する			
DPとの関連性	<p>3. 医療従事者としての倫理観に基づき、生命と個人の尊厳を擁護できる。</p> <p>4. 安全かつ安楽な看護を実践するために、臨床判断に必要な知識・技術・態度が身についている。</p> <p>5. その人らしい生活を支えるために、対象の持てる力を活かした援助を考える力が身についている。</p> <p>8. 看護に対する探究心をもち、自ら学ぶ姿勢を持ち続けることができる。</p>			
回数	学習内容		授業方法	
1	不妊治療と看護		講義	
2	妊娠期における看護		講義	
3	妊娠期における看護		講義	
4	妊娠期における看護		講義	
5	ハイリスク妊婦の看護		講義	
6	分娩期における看護		講義	
7	分娩期における看護		講義	
8	異常分娩の看護		講義	
9	産褥期の看護		講義	
10	産褥期の看護		講義	
11	産褥の異常と看護、児に健康上の問題があるときの看護、児を亡くした褥婦・家族の看護		講義	
12	施設退院後の看護 育児不安と育児支援、産褥期の精神障害の看護		講義	
13	出生直後の児の看護		講義	
14	新生児の異常と看護		講義	
15	新生児の異常と看護		講義	
評価方法	筆記試験 100点			
教科書	医学書院 母性看護学概論 医学書院 母性看護学各論 医学書院 母性看護技術			
実務経験	本科目は助産師として実務経験のある教員による授業である			

専門分野

科目名	母性看護学援助論Ⅲ	開講時期	単位数	時間数
		3年次前期	1	15
担当教員	専任教員			
科目目標	母性看護の基盤となる概念を理解し、対象のその人らしさや持てる力を活かし、親になる過程や家族適応にむけたウェルネス看護診断に基づく看護過程を習得する			
DPとの関連性	<p>4. 安全かつ安楽な看護を実践するために、臨床判断に必要な知識・技術・態度が身についている。</p> <p>5. その人らしい生活を支えるために、対象の持てる力を活かした援助を考える力が身についている。</p> <p>8. 看護に対する探究心をもち、自ら学ぶ姿勢を持ち続けることができる。</p>			
回数	学習内容	授業方法		
1	母性看護過程 母性看護の基盤となる概念の理解	講義・演習		
2	事例を用いた看護計画立案①	協同学習		
3	事例を用いた看護計画立案②	協同学習		
4	事例を用いた看護計画立案③	協同学習		
5	事例を用いた看護計画立案④	協同学習		
6	看護計画発表	グループワーク		
7	看護計画発表	グループワーク		
8	グループ発表まとめ(45分)	講義		
評価方法	グループワーク取り組み状況とレポートを総合して評価する			
教科書	<p>医学書院 母性看護学概論</p> <p>医学書院 母性看護学各論</p> <p>医学書院 母性看護技術</p>			
実務経験	本科目は助産師として実務経験のある教員による授業である			